

事業名：水産生産基盤整備事業

地区名：当添地区当添漁港（沖縄県与那原町）

●地区の概要

当地区は、沖縄本島の東海岸南部の与那原町に位置し、ソデイカやマグロの生産拠点としての役割を担っている。ソデイカは、全国的なイカ類の不漁から注目度が高まっており、県内でトップクラスの陸揚量を誇る当地区は、衛生管理型荷さばき所の整備による高度衛生管理体制の構築、漁船の大型化、新規漁業就業者の受入れなど、積極的な取り組みが行われている。

●整備の内容

○国内外への安定的な水産物供給体制の確保

漁船数の増加や漁船の大型化に伴い、慢性的に係船岸が不足しており、就業者数の増加や漁船の大型化を抑制している状況にある。また、過密な係留により、漁船同士の接触による船体の破損が生じるなど、非効率な漁業活動を強いられている。このため、係留施設等を整備し、安定的な水産物供給体制を確保する。

○漁業活動の安全性・効率性の確保

既存の船揚場は小型船を対象としているため、大型化した漁船が利用した場合、上架作業中の船体動揺船や船揚場前面泊地の水深不足など支障が生じている。このため、上架速度を抑えるなどの工夫をしながら利用しているが、今後も漁船の大型化が計画されていることから、漁船の大型化に対応した船揚場や泊地を整備し、漁業活動の安全性・効率化を図る。

事業内容

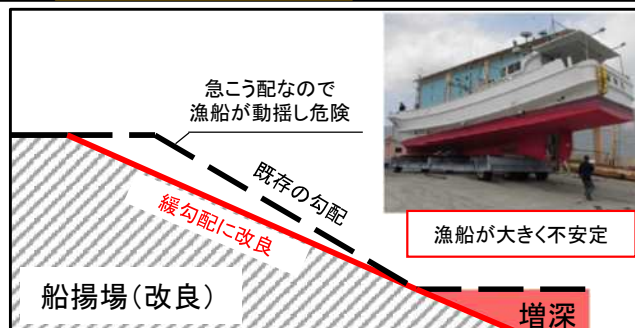
- ・ 主な事業量：突堤(A)、北護岸、東護岸(A)、-3.0m岸壁(A)、-3.0m泊地(A)、臨港道路(A)等
- ・ 事業費：2,129百万円
- ・ 事業主体：沖縄県
- ・ 事業期間：R2～R9
- ・ 令和8年度実施要求額（事業費）：120,000千円
（国費）：108,000千円
- ・ 令和8年度事業実施予定箇所：
 - 東護岸(A)：一式（暫定断面）
 - 3.0m岸壁(A)：一式（暫定断面）



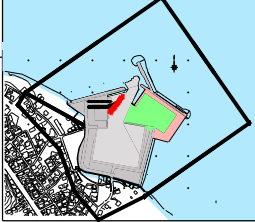
岸壁が不足し、過密な係留状況（台風接近時）

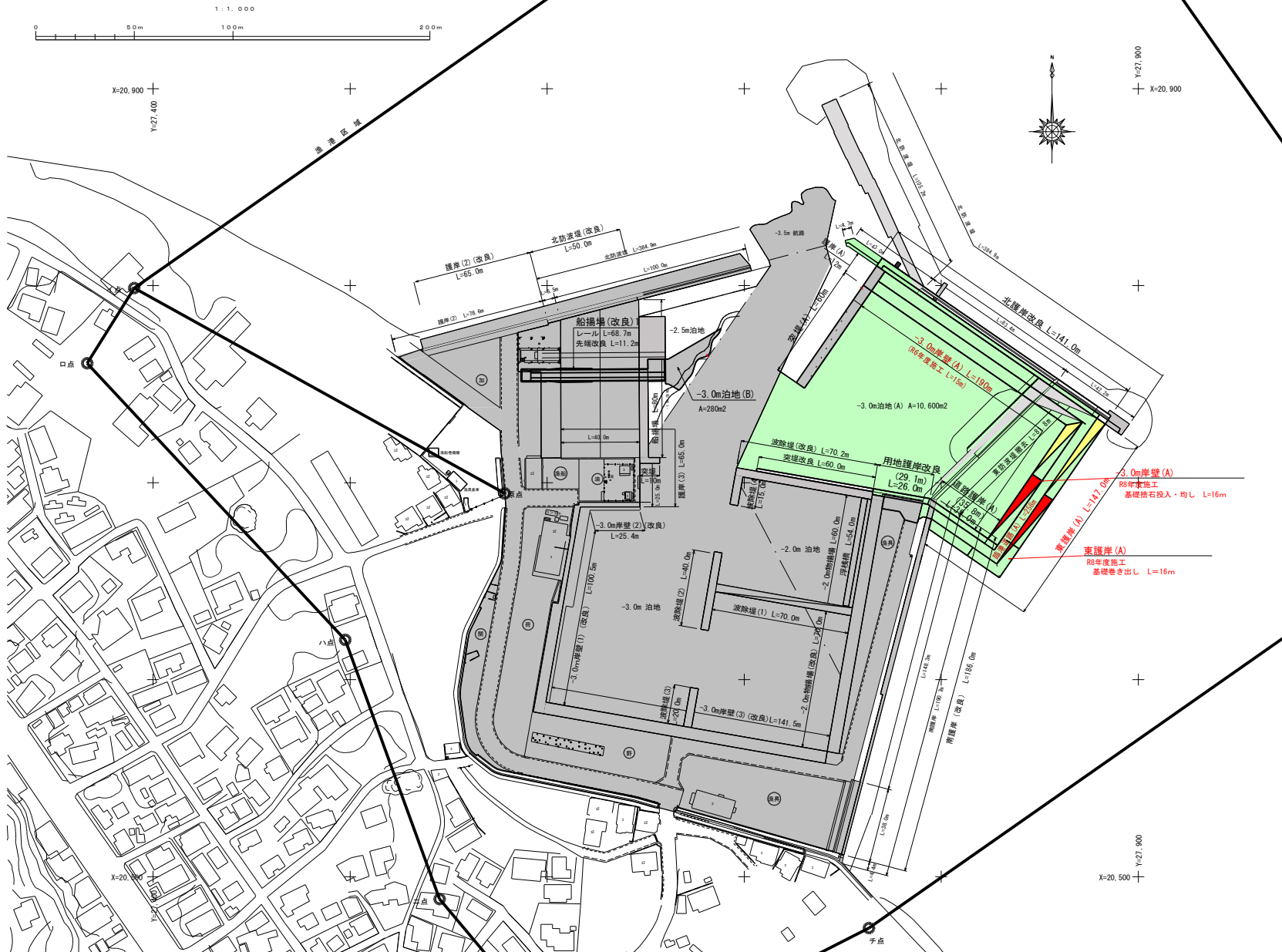


漁船破損状況

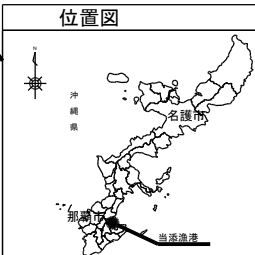


ソデイカの陸揚げ状況

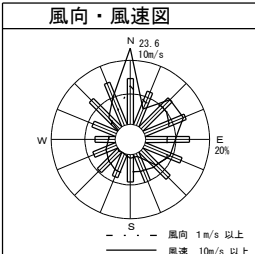
特 定 漁 港 漁 場 事 業 当 添 漁 港 整 備 計 画 平 面 図	漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施工場所	漁 港 区 域 図
	5010160	第 1 種	沖 縄	県(与那原町)	沖縄県	沖縄県島尻郡与那原町字当添地先	



位置図



風向・風速図



糸数測候所 1977年3月～1991年12月統計

潮位図

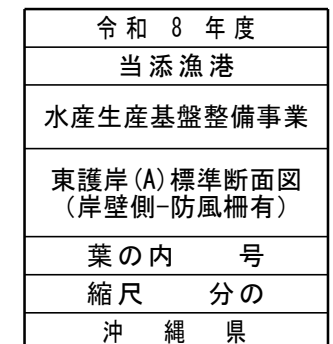
H.W.L.	+2.10
M.H.L.	+1.20
M.L.W.L.	+0.55
L.L.W.L.	+0.05

凡 例

- 令和6年度までの施工済箇所
- 令和7年度施工の施設
- 令和8年度要求分
- 令和9年度以降に施工予定の施設
- 他事業施工済み（令和7年度まで）
- 他事業施工（令和8年度以降）

平成 年 月 日 測量

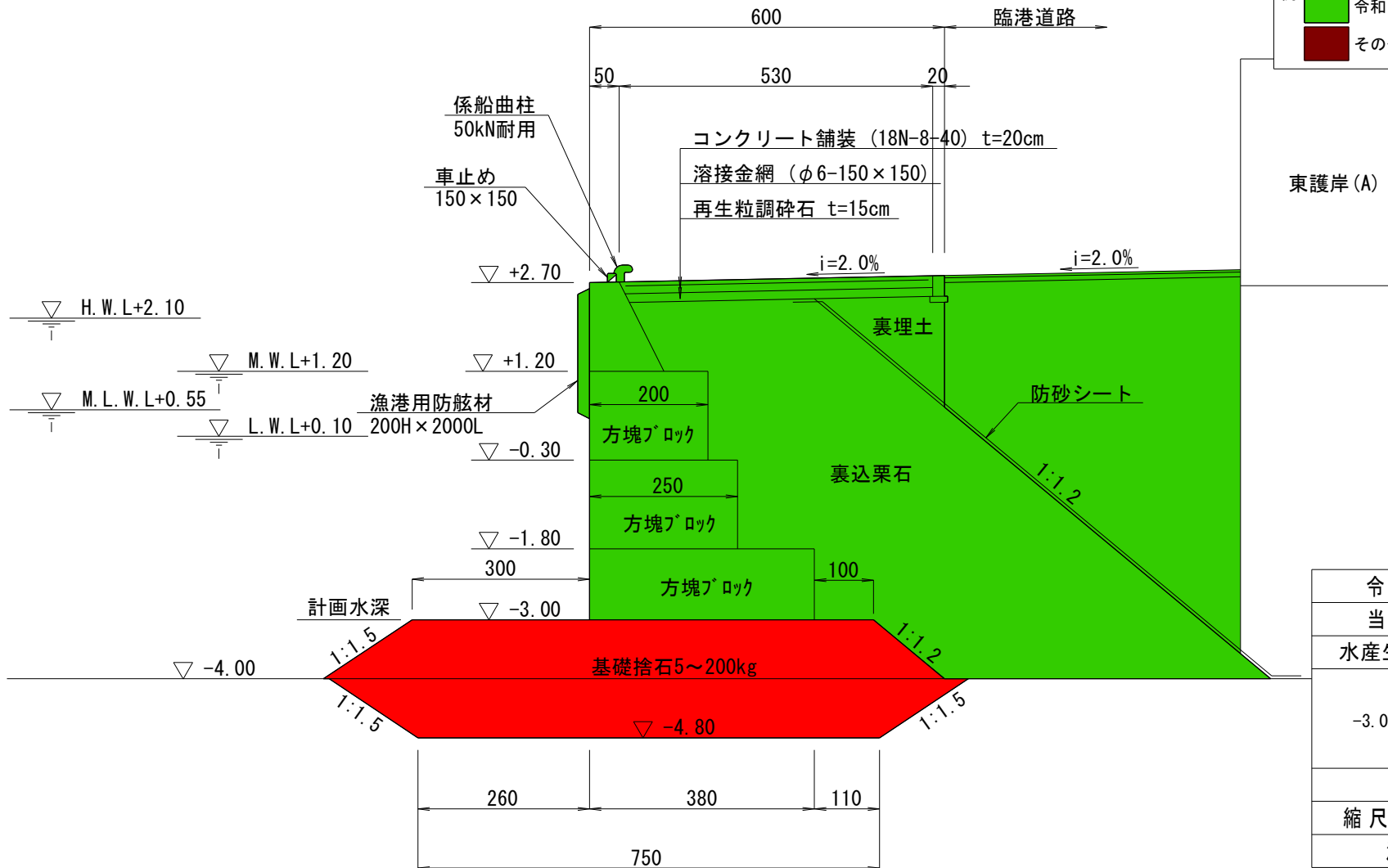
1/200



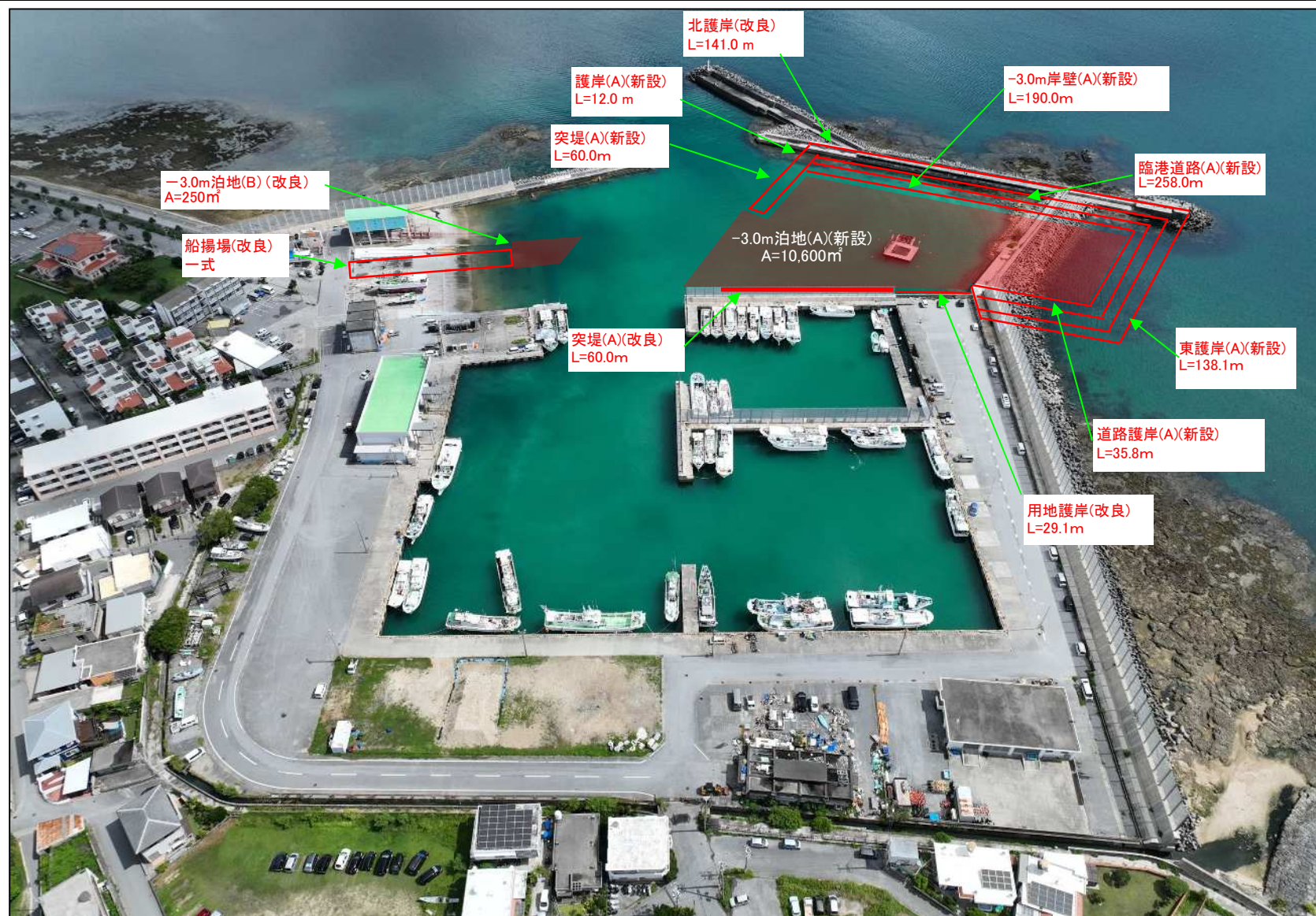
-3.0m岸壁(A)標準断面図

S=1/100

凡例	令和 6 年度までの施行箇所
	令和 7 年度施行箇所
	本年度施行箇所
	令和 9 年度以降施行箇所
	その他の事業実施箇所



令和 8 年度
当 添 漁 港
水産生産基盤整備事業
-3.0m岸壁(A)標準断面図
葉 の 内 号
縮 尺 100 分 の 1
沖 縄 県



当添漁港 第1種 県管理 昭和44年指定 令和4年撮影